銃後の守り

武内なか（宮本・89歳）

現住所で体験した事を発表します。

大東亜戦争は昭和十年に始まり、昭和二十年に八月十五日に終戦無条件降伏と敗戦です。

当時、私は三十六才の農家の主婦で、年老いた両親と幼い子供を養う為、朝早く6時から夜6時まで働き、当時は機械がないので重労働です。衣料は切符制です。娘の嫁入にはハゲタ親の物で間に合わせる。食物は配給なので農業組合に供出するので思うように動かせない。又、間引といって一軒残して二軒こわす。家屋が密集しては敵機にねらわれるので。敵機は毎夜空襲で空から攻めて来たので各家庭は防空壕を作り、老人や子供は毎夜暗い壕で避難した。八月九日敵は最後の手段として広島に爆弾を落とした。十里四方に亙って多くの人民が重傷した為に無条件降伏した。